



中体連・コンクールの壮行会

四日市市立内部中学校 第 14 号

7月6日（水）に、中体連三泗地区大会と吹奏楽コンクールの壮行会を行いました。密にならないようにするため、1年生は各教室から ZOOM での参観となりました。

体育館にユニフォーム姿の生徒たちが整列した状況は、大変凛々しくカッコ良いものでした。それぞれ協力したり励まし合ったりしながら練習に取り組んできたことと思います。部活動をしっかりと頑張れることはもちろん内部中の良さですが、体育館へ移動する様子、整列する様子、待機する様子も大変素晴らしかったです。これらも内部中の良さです。



各部活動の代表生徒が、大会への意気込みや決意を述べてくれました。その内容や姿は「さすが3年生」と思えるものでしたが、その中で「これまでお世話になった先生方や保護者の方への感謝の気持ちを大切にして試合に臨みたい」と述べた生徒がいて、大変嬉しく思いました。

校長からは、「これまで努力したこと、練習してきたことを落ち着いて出してほしい」「試合やコンクール等は、一人ではなく仲間とともに臨んでほしい」「対戦する相手への敬意や、運営される方々への感謝の気持ちも忘れずに臨んでほしい」「マナーよく行動し、気持ちの良い大会としてほしい」とお話ししました。生徒会長からの激励の言葉で、会が締めくくられました。

いよいよ9日（土）から大会が始まります。各部の生徒たちが、これまでの練習の成果や、実力をしっかりと出し切り、充実した試合やコンクールとなることを、心より願っています。

各部活動の試合の様子や結果につきましては、本校のホームページで、随時お知らせします。

入賞おめでとう！

壮行会の後に、1学期に活躍した生徒たちの表彰伝達を行いました。以下のみなさんです。

- ・令和4年度三重県中学生学校対抗戦ソフトテニス大会三泗地区予選 男女とも準優勝
- ・令和4年度三重県中学生ソフトテニス選手権大会三泗地区予選
 - 男子優勝 稲吉洸貴・東翔矢ペア 女子3位 白井倅菜・服部杏菜ペア
- ・第38回三重リレーカーニバル 男子走幅跳 3位 大原隆誠
- ・第45回四日市中学校カーニバル 男子200m 2位 儀賀峻磨
 - 男子走幅跳 1位 大原隆誠 3位 鈴木那央 6位 小田晃太郎
 - 男子4×100m リレー 5位 小田晃太郎 大原隆誠 望月勇樹 儀賀峻磨
- ・三重県中学生柔道体重別選手権大会 女子48kg級 3位 木村 心
- ・令和4年度全日本ソフトボール大会三泗地区予選 優勝
- ・第102回北勢地区6人制ジュニアバレーボール大会 優秀選手賞 宮川 瑛太
- ・第52回三重県中学生バレーボール選手権大会 男子3位 優秀選手賞 宮川 瑛太
- ・令和4年度中学団体卓球選手権大会 女子準優勝 敢闘賞 萱村心菜
- ・中学生海の絵画コンクール 四日市港管理組合管理者賞 前唄大輝

コミュニティスクールの取り組み

7月5日（火）に、『第2回コミュニティスクール合同運営協議会』を内部中学校で開催しました。今回は、内部中学校だけでなく、内部小学校、内部東小学校との、3校合同での開催となりました。

コミュニティスクールは、『学校づくりビジョン』の実現に向けて保護者・地域住民の皆さんが、学校運営や教育活動に参画していただく取り組み



のことですが、今回は、他校の委員の皆さんにもお越しいただいてお話を伺うことができ、多くの気づきがありました。地域の方々が『学校づくり』だけでなく、『まちづくり』に、積極的に関わってくださっていることを再認識しました。何よりも委員のみなさんが、内部地区を、そして内部地区の子どもたちを、本当に大切に思っていच्छやることを、強く感じました。

冒頭に、「内部地区の教育環境の強みは何か？」といった議論がなされましたが、それは「ホタルやトンボ、水田や里山といった自然環境の素晴らしさ」と、「地域や子どもたちを大切に考えている人が多くいること」が、内部地区の持っている環境の強みであることを確認しました。

その後は、地域と学校の関わりを中心に意見交換がなされました。その中で、「内部の子どもたちが持っている、素直さや優しさから、大人たちが学ぶことが大切」という意見が出されました。また、「子どもたちを地域や社会につなげていくためには、まず大人が主体的に地域活動や学校の行事に参加することが大切」、「人をつなげていく取り組みを、小さなことからコツコツと積み上げていくことが大切」と言ったご意見が続きました。大人も子どもも顔を合わせて互いの意見を交わす機会を多くすることが大切であり、「地域や学校の活動に取り組むことで、自分が嬉しいと思うことが重要」といったご意見も出され、まさに「志」だと思いました。

交通安全についても、「通学路等が安全な環境となるよう大人が取り組んでいくことと、子どもたちが自分の生命を守れるようにしていくことの両方が大切」との意見が出されました。

地区のみなさんに頼るだけでなく、学校としても『まちづくり』に参画していきたいです。

内部川清掃

7月3日（日）に、地域の取り組みである「内部川清掃」に、本校の生徒と教員（延べ150名）が参加しました。小雨が降る中でしたが、生徒たちは熱心にゴミ拾い等に取り組みました。地域としては「内部川」でしたが、本校の生徒たちは「足見川」周辺を担当しました。一部の生徒たちは、外来植物である「アレチウリ」の駆除に取り組みました。



農作物や生態系に影響するため、駆除する必要があると、地域の方から教えていただきました。

他にも、「オオキンケイギク」（黄色い花）や「オオハンゴンソウ」といった植物、「ブルーギル」「ブラックバス」といった魚類も「特定外来生物」で、駆除する必要があるそうです。